

鉄道ゆかりの弁当を開発、

福知山名物としての浸透をめざす

有限会社 高田商事

たまがきまゆみ  
玉垣真由美さん



玉垣真由美さん

“鉄道のまち”らしい名物弁当を

古くから交通の要衝として栄え、“鉄道のまち”としても知られる福知山市。同市で料理旅館「丹波の奥座敷 たかた荘」を運営する有限会社高田商事は、この街にふさわしい名物弁当をつくりたいとの思いで『鉄道の街』を開発しました。きっかけは昨年2月、KTR（北近畿タンゴ鉄道）より受けた、宮福線高架開業時に販売する記念弁当製作の依頼です。「そもそもこの土地にはお弁当がなかったんですね。そこで地域色を盛り込んだ“ご当地弁当”のようなものをめざしました」と、開発担当の玉垣真由美さん。

たかた荘は昭和52（1977）年の開業以来、懐石料理や中華料理、仕出しなどを手掛けてきた30余年の実績があり、本格料理はお手のものです。丹波・丹後・播但エリアを走る鉄道沿線の特産物を食材に、季節感あふれるメニューを工夫。さらに“鉄道のまち”らしさを出すため、蒸気機関車時代の石炭をイメージした黒い稲荷寿司『石炭寿司』も考案し、オリジナル弁当を完成させました。この『鉄道の街』はKTR高架開業記念弁当として開業当日の改札前で販売され、好評のうちに完売。福知山観光協会主催の「福知山のうまいもの展」にも2日間出店し、こちらも見事完売しました。



『鉄道の街』

沿線の地場産品と季節感にこだわり

当初はKTRの催事用にと単発的に製作された『鉄道の街』でしたが、うまいもの展を含む2ヶ所の販売で好評を得たこともあり、商品化して地元の名物弁当になるよう育て上げていこうということになりました。そこでタイミングよくファンドの存在を知り、応募。採択を受けて着々と商品化が進みます。「当店はお弁当関係の仕出しもしているので、こういう折り詰め弁当に関するベース、ノウハウは持っています。それをいかに特徴のあるお弁当につくり上げていくか…。たとえば折りの形や大きさ、食材の吟味などに試行錯

農林水産物の活用

誤を重ね、最終の完成までに丸1年はかかりました」。

折りの形は、福知山市の花・キキョウの形に決定。食材については舞鶴の魚、朝来の岩津ネギ、黒井の地鶏など、沿線各地の地場産品にこだわるとともに、春はタケノコ、秋は栗と、季節ごとに内容が変わるのも特徴です。特に野菜に関しては“隠れた名産”的なものも多用し、地元野菜の良さをアピールしていきたいといいます。



黒いお稲荷さん『石炭寿司』

真っ黒の『石炭寿司』にびっくり

『鉄道の街』の中でひときわ目立つのは、黒い稲荷寿司『石炭寿司』です。その名の通り石炭をイメージして考案されたもので、寿司飯も油揚げも真っ黒。イカ墨等を用い、新開発の調理方法で色付けしているそうですが、味は普通のお稲荷さんです。地元産の豊富米を使用した酢飯にゴボウとタケノコを混ぜ入れ、油揚げで包んだ表面には石炭の粉をかぶった風合いをと、黒ゴマをふりかけました。季節ごとに内容が変わる『鉄道の街』の中にあって、この稲荷寿司だけは必ず1つ入っているという、象徴的な定番アイテムです。

またこの『石炭寿司』は特許取得済みであるとともに、冷凍や解凍のノウハウを独自に完成。単独での幅広い展開が可能で、全国の炭鉱の街に売り込むなど、今後の販路の拡大にも大きな期待が寄せられています。

“仕出しのお手軽版”的な位置付けで

『鉄道の街』の販売は、現在のところ注文生産のみとなっています。素材や調理法の関係で、大量生産できないのがその理由。「メニューは注文を伺ってからその季節の食材で考えますし、機械でつくるお弁当とは違い手作業でやっている分、やはり対応できる数が限られてきます。400～500個ぐらいまではいけるのですが、それ以上になると難しい。販路を広げることで、質を落とすようなことはしたくないので」と玉垣さん。

現在の主な受注先は、公的機関の行事や視察団体の昼

食利用が中心です。加えて、市民や観光客を対象にしたイベントへの出店等。また旅行会社との従来の繋がりを經由して、地元発バスツアー等での昼食に利用されるケースも徐々に増えているそうです。今後はデパート等の催事で出店チャンスがあれば、その方面も視野に入れていきたいと考えています。

低価格の弁当が多数あるなか、税込み1300円という価格の妥当性についてはさまざまな意見があるようですが、内容に関しては絶対的な自信があります。イベント出店では必ず完売している実績があり、顧客から「次は違う季節に食べてみたい」との声も多く聞かれるなど、一定の評価を得ています。安価な商品とは差異化した“仕出しのお手軽版”的な位置付けで、今後も現状を維持していきたい構えです。

一度でも食べた人は必ず話題にしてくれそうな『石炭寿司』と、地元素材のよさを生かした季節の本格的和食弁当『鉄道の街』。インパクトの強さとクオリティの高さで、福知山の名物として今後どう定着していくかが楽しみです。

事業概要

有限会社 高田商事（丹波の奥座敷 たかた荘）  
http://www.takatasou.com/  
代表：高田義己  
業種：料理旅館業  
創業：昭和52（1977）年 設立：昭和52（1977）年  
住所：〒620-0054 福知山市末広町4-22-1  
TEL：0773-23-5221 FAX：0773-23-7210